



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12:30 例会場：豊川商工会議所
 会長：井指光基 幹事：山城康司 SAA：笠原盛泰 会報委員長：小野喜明
 事務局：豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度29回 通算第1055回 平成20年2月12日(火) 晴

ゲスト 石黒坦史さん(豊川)
 ビジター 安田一夫さん(豊川)
 出席報告 宮崎眞一委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	1/29修正出席率
55名	49名	33名	67.3%	98%

司会進行 笠原盛泰 SAA

★会長の挨拶及び報告 井指光基会長

こんにちは。中国の食品、日本の食卓が危機にさらされています。「食」という字は、人に良いと書きます。今はそれが脅かされている時代です。ひまわり農協の柴田組合長も出席されていますので、是非とも地産地消をすすめてもらいたいと思います。昔から自分の住んでいる10キロ範囲のものを食べていると長生きすると言われます。生まれ育ったところの水で、土で出来た物が体には一番良いのだそうです。ひまわり農協さんにも頑張ってもらって、三河のものは三河に安定的に供給できるようにしてもらいたいです。こんな時代で一番心配するのは、食のテロ、水のテロです。ひまわり農協さん宜しくお願いします。



★幹事報告 山城康司幹事

ウィークリー：蒲郡・新城 RC
 例会臨時変更のお知らせ：新城 RC
 ローター手帳の注文について

★新世代委員会事業贈呈式

○金田新世代委員あいさつ

豊川音楽協会より「ほーほう子ども音楽祭」開催にあたり、後援と助成の依頼が参りまして、昨年引き続き協力させて頂くことになりました。3月1日に豊川市文化会館にて開催されますので、ご都合がつかます方は是非お出掛けいただければと思います。

○小野喜明音楽協会会長あいさつ

本日は助成金をありがとうございます。この「ほーほう子ども音楽祭」は、地元の優秀な生徒さんを掘り起そうと、声楽、管楽器、弦楽器などの演奏をしてもらい、才能豊かな子どもさんたちに賞を出しています。音楽協会は大変ちいさな団体で、財政的にも厳しいのですが、発表の機会を作って音楽形成と演奏水準を高めようとしています。豊川宝飯ロータリークラブさんには大変感謝申し上げます。今後とも頑張って参ります。どうもありがとうございました。



★外部講師の卓話

○講師の紹介

伴辰三会員

卓話をお願いした石黒さんの紹介をします。ガバナー補佐をされましたので、皆さん充分ご存知の方だと思います。私が会議所にお世話になって、繊維工業部会に入りまして、石黒さんと毎回の部会の席上で色んなお話をお聞きしました。石黒さんの人生観、事業観、社会観、人間としていかに生きるべきか、企業家としてどんな考え方で取り組むべきかと非常に私は参考になって、刺激をたくさん受けました。今日もおそらく「二代目」というテーマですから、不織布を大量機械生産されています。不織布は20世紀に誕生した技術ですから、ずいぶん前から布団の綿の打ち直しということで蓄積された技術はおありになったと思いますが、二代目を引き継いで本当の工業化設備にされたご努力、新しい市場への需要改革、とても大変だったろうと思われまします。本日は、そのようなことを含めて二代目というテーマで、きっと心に響くようなお話が期待できるのではないかと思います。よろしくお願ひします。

○卓話「二代目」

石黒坦史氏

こんにちは。なんか過分な紹介を頂きまして、足の裏を金火箸でくすぐられて、くすぐったいのを通り越し



て痛くなってきた感じですが。この2月5日に71歳という年を迎えまして、ロータリーに入れて頂いて31年経ちます。ガバナー補佐も10年も前になります。どういうわけか、豊川クラブの中でやる人がなくて、よんどころ無く受けまして務めさせて頂きましてが、そんなことはとっくに忘れまして、この頃は、おじいさん生活をしているわけです。

私は昭和30年に国府高校を卒業しました。昭和30年といいますと1955年でございます。その後、仕事に入りましてから今日まで豊川や御津のあっちこっちを眺めながら過ごしてまい

りました。この頃特に気がつくことは、なんでこんなに世の中の変化というものがあるのかなあとと思います。50年前に栄えていた家がほとんどありません。まあ家が残っていれば上等です。御津に大きな織布業の工場ですが、150名ぐらい使っていたところ、130名ぐらい使っていたところ、100名使っていたところなど大手で3つぐらい。大きな海苔屋さんの工場もありました。いつしか宅地分譲され、大きな工場がなくなってしまったなあと思う今日この頃です。こんな言葉があります「行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまることなし。世の中にある人とすみかと、またかくの如し…」と方丈記の冒頭の言葉ですが、この言葉は、鴨長明が800年も前にしゃべった言葉なんです。世の中はそういうものなんだなあと思います。この方丈記の言葉もそうですが、天の利というものを、人間は言っているのですが忘れてしまって、自分の力を過信してしまって、まだまだ出来ると思ひ込んでしまうことが人間の本当のサガであるなと思います。一輪の花が咲いたとします、花は必ず散りまして種が落ちます。種が落ちたものが、また環境が整ったときに新しい芽が出て、みんなに踏まれながらも双葉を伸ばしてある程度の大きさになりますと、必ず子孫を残そうとして花を咲かせようとしみます。この花が早く咲くか遅く咲くか、多少の差はありますが、咲いたものは必ず花が落ちて、そしてまた種になり、また繰り返しているわけです。

二代目という題にしたわけですが、終戦直後の大復興期を日本の戦争を潜り抜けた人たちが、日本の国を支えて頑張って成長しました。その後、私どものような、ただハングリーだけで生きて、ただ食べるものがなく、どうやったら食べれるかと思ひながら生きてきた人が、頑張りを一応ここまでは来たんですが、この頃の世相を見ていますと、なんであんなことが起きるのかと思うことがいっぱいあります。親を殺したとか、兄弟を殺したとか、常識では考えられないことが起きています。よく考えて見ますし、僕たちの結果があのようなものをつくっているのかなと、この頃思えてならないです。僕たちのやり方が何か悪かったのかと思うことがあります。よく見てみますと、こんなことなのかなと2、3気がつきます。私の近所で同級生なんです

が、トヨタ自動車に昭和30年から定年まで勤めまして退職をした子がいます。僕たちの顔を見ると、「俺は金が一億円貯まった」と言います。だから僕は「お前、一億円貯まったぐらいで何を言う」と言ってやるのですが、彼は嬉しくてみんなに話をします。その一億円貯めたのはいいのですが、周りから言わせると、お金があつて何をやるんだ？と思います。彼は年金も沢山あるそうなので、道を歩きながらも、畑仕事をしている人にも自慢話をするらしいです。昨年のことなのですが、小学一年生のときの担任の先生から僕に同窓会をやってほしい連絡が来て、みんなを集めました。せっかくだからと大勢に声をかけたおかげで20名集まりました。そしたら、あのトヨタに勤めていた子は、料理が良くないとか、酒をもってこいとか文句を言いながら、最後には料理が残ってパックに詰めていました。料理を持って帰ることは悪いことではないのですが、ただ、本当の終戦を潜り抜けた人の生き方というもの、そういう時は少し違っていただろうかと思えます。なんとかしないといけないと一生懸命に働いて子供を育てて、大変だったと思うけど、日本の経済が成長し世界で2位や3位になるぐらいまでなりました。その後、私たちは、ただ真似をするだけ働いたんですが、経済成長が激しかったために、お金にこだわりすぎて、なんとなくお金を稼がなくてはいけなくてしまった人が、部分的にできてしまったと思うんです。ですから、人が何を思おうがお金さえあればと、周りを見ずに生きていますから、だから今度は今の子どもたちが、なんかお金にこだわっちゃって、とにかくお金があれば偉いみたいになって過ぎてしまったのかと思えてなりません。

このロータリークラブも昭和34年に豊川にできた時には、この地域に700人ぐらいしかいなかった時だと思えます。今は愛知に5,000人います。なんとなく、お金を儲けて、お金を儲けた人は偉い、そのお金持ちをロータリーに入れれば良いという発想が、なんとなく強すぎて、ギクシャクしてきているのではないかと思えてなりません。生意気かもしれませんが、お金があつて偉いわけじゃありません。会社が大きくて偉いわけじゃありません。家庭を愛し、兄弟仲よく暮らして、それが普通の人生だと思います。お金があつて、会社が大きくなって、その会社の人をおだ

てて、私は別にどういうことでもないと思えます。1945年の終戦の年から1995年ごろまでの経済は、だいたい10年で倍のペースで伸びてきました。ですから、10円が20円、20円が40円と伸びました。土地なんかはもっと伸びました。ですから、決して経営者がすごく儲けたわけではなく、世の中がどうしなくても伸びちゃつてお金が儲かった気持ちになっているわけですが、1995年ぐらいから成長率が0.0いくつかになってきました。成長が10年で一割ぐらいしか伸びない時期に来たわけですね。それをどうしても、今までのペースで物を考えて動かしているの、日本の政治も狂ってしまつて、実際には1割しか伸びないリズムなのに、昔の倍々リズムを背中に背負ったまま経済をやっているのです。

四柱推命という易があります。その易は人間の生まれた年と月日で、だいたいその人を占うことができると言われています。生まれた年というものは、親から継承した遺伝子の部分だそうですね。そして月日は、姉妹兄弟、友達などの影響だそうですね。そして生まれた日にちは、自分や配偶者の影響で、生まれた時間は、子孫の影響が出てくると言われています。それを五行十干十二支でまとめまして、今年が戊の子年になりなり、それを噛み合わせて易を占っています。この易の場合には40%が四柱推命でだいたい人生の占いができるであろうと言っています。もう20%が本人の努力であろう、そしてもう20%が周りの人や友達の影響であろうと、そして残り20%が地相とか家相であろうと言っています。そうやって考えたときに、私も今日あるのは、ご先祖様のお陰で、ご先祖様があつてご先祖様の徳を頂いて生きているわけです。私の人生をよく考えてみると、私はJ.C.に入れて頂きまして、そしてロータリーに入れて頂き40数年間豊川の人とずっとお付き合いしてきたわけですが、素晴らしい友達とか先輩とか後輩に囲まれまして、押されたり引張られたり背中を叩かれたりして、ここまでやって来れたと思えますから、私の人生は35%ぐらい友人に囲まれてやってきて、5%ぐらいは努力をしたのかもと思っています。ロータリークラブも青年会議所もそういった意味で素晴らしい団体だと思います。そして幾色かの考えや感性を持った人の集まりで、現在ロータリーに入っていて良かったと思うのですが、半面にここに入ってみえる人は、それなりの

徳を持った人であり、家が栄えたときに育てられた人なんだと見ています。決して、失礼ですが皆さんの努力でロータリーに入れたというのではなく、ご先祖様があって、今日があって、たまたま仕事に当たって、そしてロータリーに入って友達があってやっていけるのであろうと私は思いながら見ております。中には「俺が…」という人も私の周りにいますが、人間というものは頭ではなく、ご先祖様や親からもらった運とかで生きているように思います。また素晴らしい時期にロータリーに入れる環境にあったのだと思います。恵まれた環境の中で、恵まれた立場で過ごされていると思います。ロータリークラブが良いか悪いかと言うことではなく、皆さんの結果が必ず子ども達に出るわけで、何をやっても良いというのではなく、子どもに自分たちの思ったことやったことが、必ず面白いほど結果として現れてくるので、せっかくのロータリーという会ですから、みんなの良いところを真似をして、間違ったことはやらない方が良いでしょうし、それなりに真面目な生き方をしていくことだと思っています。

豊川宝飯クラブが24年経って現在55名と聞いています。最後に入会された人が103人目と聞いていますから、50人ぐらいの方が退会されて、残りの55名で守っているわけです。私ども豊川クラブの場合は217番目が最後でして、現在68名ですので、150名ぐらいの方が退会されたこととなります。私のクラブは二代目のロータリアンの方が14、5名います。そしてその方たちの他には、ほとんどの方が二代目の人たちです。やはり二代目の方を見ていますと、お父さんはすごく怖い人だったけど、不思議に息子さんは品が良くておとなしくて、でも、それだけ迫力がない人でいざという時のバネがないように思います。ですから初代は品もなく、言いたいことやりたいことをやっていますが、良いところはその勘と感性で動いていますが、二代目の方はデータと数字で仕事をやります。たとえばお父さんが10億円の会社を創ったとすると、落とさないように落とさないようにとるので、どうしてもデータに走ってしまう。そうすると赤福のような結果がでてくるのかなと思います。誰もがお父さんのときよりも上をいかないと思うからです。お父さんの時代は倍になっていくので、頑張らなくても売れた時代なんですけど、今はそんなわけにはいかな

いので、今は10年で一割しか成長しないという時代が変わっているということと、情報も速くなっているんで、そんなことをわきまえながら進んでいかないと駄目な時代にきていると思います。是非このロータリークラブに入られて、素晴らしい花の咲いているときに入られてエンジョイしているわけですし、素晴らしい方が入られているわけですから、良いところを吸収してもらいたいと思います。ながいことロータリーにいて頂きたいし、またご子息がロータリークラブに入れるような企業であってほしいと思っています。私も子どもに代わる時期に来たと思っています。是非みなさんも頑張ってください、二代目三代目がロータリーに継続して入れる会社であることを念じて、卓話を終わります。ありがとうございました。

★ニコニコボックス

◎その他

石黒坦史さん	本日卓話をします
安田一夫さん	メーキャップさせて頂き
小野喜明会員	音楽協会事業への協力頂き
堀田卓嗣会員	長く欠席してました
伊藤靖彦会員	誕生日を祝って頂き
柴田浩志会員	〃
伴辰三会員	〃
加山昌弘会員	〃
伊原良碩会員	結婚記念日を祝って頂き
伊藤正幸会員	〃
波多野四郎会員	〃
廣田啓司会員	〃
永田恵照会員	〃
山本章吾会員	〃
笠原盛泰会員	入会記念日を祝って頂き
石黒坦史さん	お車代を頂きました

ロータリー豆知識

2月は「世界理解月間」です。世界平和に不可欠な国際理解と親善を深め、個人あるいはクラブレベルで世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよいに推奨されています。また、2月23日は世界理解と平和の日とされています。

会報担当者：柴田浩志会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。